

『マーケティング史研究』 編集方針

マーケティング史学会『マーケティング史研究』編集委員会

1. 目 的

『マーケティング史研究』(Japan Marketing History Review) は、マーケティング史学会が発行する学術雑誌(機関誌)です。独創的で優れた業績を論文として刊行することにより、マーケティング・流通分野における歴史研究の成果を広く公開するとともに、研究交流を活性化することを目的とします。

刊行は当面年間2号とし、査読の対象となる「論文」と「研究ノート」については毎年3月31日および9月30日を原稿締切日とします。

2. 掲載分野と種別

本誌は、マーケティング・流通に関する分野での歴史的研究や学説史研究などの、理論的な「論文」を募集しています。これらに加えて、特定の研究分野における研究の動向を詳細に整理したレビュー論文も歓迎します。また、マーケティング・流通における研究方法論に関する論文も対象とします。

本誌に掲載される原稿の種別は、「論文」・「研究ノート」・「書評」・「書籍紹介」・「研究会報告要旨」です。これらのうち「論文」(「招待論文」を除く)と「研究ノート」については、下記3.の審査プロセスを経て掲載の可否が決定されます。「書評」・「書籍紹介」・「研究会報告要旨」は、原則として編集委員会からの執筆依頼に基づいて掲載されます。

参考) 原稿種別の字数については以下の通りに定めます。

- 論文 16,000 字から 38,000 字程度
 (英語論文の場合は 8,000~19,000 words 程度)
 ※ ただし招待論文に関しては字数の規定を特に定めません。
- 研究ノート 6,000 字から 16,000 字程度
 (英語論文の場合は 3,000~8,000 words 程度)
- 書評 4,000 字から 12,000 字程度
- 書籍紹介 2,000 字から 4,000 字程度
- 研究会報告要旨 800 字から 1,600 字程度
- ※ 論文と研究ノートについては英語原稿の投稿も歓迎します。

3. 審査プロセス

投稿論文の審査は、編集委員会と編集委員会が依頼する査読者(=レビュアー)により行われます。編集委員会は会員総会で承認された編集委員若干名によって構成され(編集委員長は互選による)、査読者2名は原則として本会員から選ばれます。論文掲載の可否は、査読者による匿名評価の結果を踏まえて編集委員会が決定します。なお、編集委員が投稿者となった場合は、当該論文の査読者選定や掲載可否の決定には関与しないものとします。審査手続き開始以降、初回の審査結果が出るまでの審査期間は1~3ヶ月を基準と

し、査読の結果が「掲載可 -- 訂正なし」または「条件付き受理 -- マイナーな訂正・再査読なし」の場合は、原稿締切日から概ね6か月後に発行される巻号に掲載されます。ただし「訂正の上、再査読」となり再査読に時間を要する場合、次号の掲載となることもあります。

上記、投稿論文の他、編集委員会の議を経て依頼した「招待論文」が掲載される場合があります。当該論文については査読等の審査プロセスを経ないものとします。

4. 審査基準

査読者は投稿論文を次のような諸点について評価した上、総合評価を行います。

- ・ 研究の独創性と研究の位置づけの明確さ
- ・ 研究方法の妥当性、適切性
- ・ 文献レビューの適切さ
- ・ 歴史研究への貢献度
- ・ 研究結果の信頼性、一般化可能性
- ・ 論旨の明確さ、構成の明瞭さ、文章の平明さ

5. 学会誌の公開

『マーケティング史研究』は、創刊号よりオンライン・ジャーナルの形式を採用し、ISSN（国際標準逐次刊行物番号）に登録します。登録番号はISSN 2436-8342（Online）です。なお、本誌の印刷媒体での発行予定はありません。

掲載論文の公開は科学技術振興機構が運営する「J-STAGE」にて行い、オープンアクセスとし、学会員以外の方でも閲覧・利用ができるようにします。なお、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（Creative Commons License）のBY（表示 -- 資料の利用に際し適切なクレジットを表示し、ライセンスへのリンクを提供し、変更があればその都度表示する）、NC（非営利 -- 営利目的での資料の利用の禁止）、ND（改変禁止 -- 改変した資料の頒布禁止）を設定し、この旨を雑誌に表示します（CC BY-NC-ND 4.0）。

また、掲載論文はDOI（デジタルオブジェクト識別番号）に登録します。

以上

2022年5月1日制定

2025年12月13日改定

『マーケティング史研究』編集委員会

大内 秀二郎（編集委員長代行・編集事務キャップ）

宇田 理（編集委員）

菊池 一夫（編集委員）

越川 靖子（編集委員）

鍾 淑玲（編集委員）

戸田 裕美子（編集委員）